

平成25年度（平成24年度対象）

生駒市教育委員会活動点検評価報告書

平成25年8月

生 駒 市 教 育 委 員 会



## 生駒市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の 状況に関する点検・評価について

生駒市教育委員会では、心豊かでたくましく生きる力をもった新しい時代を担う人づくりを目指し、各施策に取り組んでまいりました。

このたび、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき平成24年度の実績を対象に生駒市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況について、点検・評価を行いましたので、同法第27条の規定により報告します。

平成25年8月26日

生駒市教育委員会  
委員長 中井 公人

## 目 次

◇平成24年度活動評価報告書の作成にあたって	1
◇評価委員の意見書	2～4
◇本市の平成24年度の重点施策	4～8
◇評価項目	
1 教育委員会	9
2 教育総務部	
(1) 幼稚園教育	10
(2) 学校の自主性・自立性の確立	11
(3) 学習指導・生徒指導	12
(4) 安全教育・健康教育	13
(5) 就学援助・遠距離通学費補助・入学支度金	14
(6) 就学事務	15
(7) 教育相談・研修	16
(8) 子ども施策の推進	17
(9) 学校給食	18
(10) 幼稚園施設の整備	19
(11) 小学校施設の整備	20
(12) 中学校施設の整備	21
3 生涯学習部	
(1) 生涯学習活動の推進	22
(2) 文化財保護	23
(3) 青少年の健全育成	24
(4) 高齢者教育の推進	25
(5) スポーツ振興事業	26
(6) 文化芸術振興	27
(7) 生涯学習施設の管理と運営	28
(8) 図書館	29

## 平成24年度活動評価報告書の作成にあたって

### 1 報告書の位置づけ

この報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下「法」という。）第27条第1項の規定により、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表するものです。

### 2 点検評価委員による評価

点検及び評価にあたっては、法第27条第2項の規定により、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するため、点検評価委員2名を委嘱し、同委員による点検評価結果を意見書として添付しています。

### 3 国等の動向

国では、改正された教育基本法の理念を具現化するため、10年先を見据えた教育振興基本計画を策定し、平成20年7月に閣議決定されました。本計画は、改めて「教育立国」を宣言し、我が国の未来を切り拓く教育の振興に対して社会全体で取り組んでいくため、策定後10年間を通じて目指すべき教育の姿や、今後5年間で実現を目指す主な目標を定めるとともに、取り組むべき主な施策等を示しています。

また、同年3月告示の新学習指導要領は、「生きる力」の育成理念を引き継ぐとともに、「学力低下」の指摘に応え学力の3要素である(1)基礎的基本的な知識・技能の習得、(2)知識・技能を活用して問題を解決するための思考力・判断力・表現力の育成、(3)学習意欲の向上を図るための言語活動や理数教育の充実、豊かな心とたくましい体を育むための道徳教育や体育の充実が盛り込まれており、地方公共団体・学校現場のたゆまぬ教育改革が求められています。

## 平成24年度生駒市教育委員会活動の点検及び評価に関する意見

### 1 意見書の提出について

この意見書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「法」という。）の規定により、生駒市教育委員会が、その権限に属する事項について平成24年度の管理及び執行の状況を自ら点検及び評価を行った内容に対して、法の規定により、生駒市教育委員会活動点検評価委員（以下「点検評価委員」という。）を委嘱された私たちが評価した結果を意見書として取りまとめたものである。

### 2 生駒市教育委員会活動の点検及び評価に対する意見

#### (1) 教育委員会

教育委員会会議は、毎月の定例会のほか臨時会1回を開催し、議案・案件を慎重に審議、適切に議決・承認が行われている。また市内29校園の定期学校訪問のほか各種行事や事業への参加による状況把握や各種懇話会の開催など、滞りなく教育行政の推進に努めていることは評価したい。

教育委員と理事者との意見交換の場を設けるなど、これまで以上に首長との情報共有、意思疎通を図ったことは評価される。引き続き事務局との連携を密にしながら広く行政総体で教育行政に取り組み、市民ニーズに応えられるよう努めてほしい。

また、現在も実施されているが、市のホームページや広報誌等を活用した教育委員会の広報活動のより一層の充実を望む。教育の方向性を示す会議でもあるので、子ども、教職員、保護者、市民すべてに分かりやすく取組や課題等を示していただきたい。

#### (2) 教育総務部

##### ① 学校教育

国に先駆けて実施された本市独自の少人数学級編制（小学校1年生30人、2年生35人）の導入は、きめ細かな指導が可能となり、学力の向上はもちろんのこと生徒指導面でも効果が大きく、その先進的な取組は高く評価できる。今後もその成果を検証しながら制度の維持拡充を願いたい。

幼児・児童・生徒の指導が複雑化、専門化してきている上、幼保一元化や小中一貫教育など制度移行に対応できる職員の研修が極めて重要になってきている。このような中、「ALT、わくわくイングリッシュサポーター、学びのサポーター、図書館司書、特別支援教育支援員、スクールカウンセラーなどの教育相談員、スクールボランティアなどの地域人材」など、様々な学校支援としての人材の配置・派遣や制度・事業への取組は今後も堅持していただきたい。

特に目を引く「スクールアドバイザーズ」の設置は学校現場にとって大変心強いものと考えられる。平成24年度ははじめ対策として、県と連携したアンケート調査を実施し、個々の問題に対処してきているが、専門的見地からの指導助言は問題の早期解決はもちろん、学校生活における円滑な人間関係の構築に効果が期待できる。

幼稚園教育について、保護者の要望は多様である。中でも、最近では長時間保育への要望が多く、

各園では「預かり保育」を実施しているが、平成24年度から、新たに生駒幼稚園において「長時間預かり保育」が実施されたことは、保護者のニーズに応えていると言える。なお、3歳児保育や希望者全員受け入れは今後の園児数見込み等の課題はあるが、保護者の安心感は大きいものがあり継続できるよう努めてほしい。また、全国的には、幼保一元化、こども園への移行がみられる。市内でも、教員の幼保交流研修の実施や施設検討がみられるが、保護者、地域、教職員の思い、子どもの実態等を十分把握したうえで、検討を進めてほしい。

市内小学校では、隣接校選択制が実施されているが、更に学校規模差が拡大するようであれば校区見直し等何らかの再検討も将来的に必要になってくると考えられる。

特に、生駒北地区における「高山スーパースクールゾーン構想」は地域の特性を生かした画期的なものであるが、小中一貫校、こども園、学校給食センターなど教育環境を含めた地域のまちづくり構想だけに、地元の理解と協力を得られるよう慎重に進められたい。

環境教育の大切さが言われているなか、平成24年度から採択された鹿ノ台中学校の「スーパーエコスクール実証事業」の成果を市内他校へも普及したいものである。

## ② 学校給食

安全・衛生を第一に、安価で栄養価のある、しかも美味しい給食を目指した日々の取組は高く評価したい。また、栄養教諭を中心に学校と連携を深めながら、子どもたちの食習慣や正しい栄養の知識を身につけさせようとする食育に携わる取組は、今後も継続されたい。特に、市内の全小中学校に完全給食を実施していることは、食の乱れが憂慮される現代社会にあって健康増進にも大いに寄与するものである。

施設設備の老朽化が気になるころなので、策定された学校給食センター更新基本計画に沿って総合的に検討されることを望む。

## (3) 生涯学習部

### ① 生涯学習

生涯学習推進基本計画に沿って、人権教育、家庭教育、社会教育など多様な学習内容と機会を設定し、その事業の推進や学習支援の充実に努力していることを評価する。そうした中で、生涯学習活動の現状を見たとき、高齢者に比べ、仕事を持つ世代や青少年に関わる活動や参加が少ないと思われる。特に、子ども会組織が成立しにくい状況の中では、行政も団体育成支援を強めるとともに、継続性のある青少年向けの文化、スポーツ、体験講習等を開催していく必要があると考える。

放課後の子どもたちの活動状況を見ると、多くは習い事や学習塾と忙しくしているが、活動機会のない子どもは、公園などの遊び空間があっても、遊び仲間がいない状況にある。「放課後子ども教室」は、そのような子どもたちに活動場所と機会を提供する場として有効である。現在3校で実施しているが、利用状況を見て拡大していきたい。

平成24年度から、施設の管理運営に関して指定管理者制度が導入され、旧公民館の使用範囲の拡大とともに、生涯学習施設の利用件数、利用者数とも増加し、利用者の大多数が満足していることは評価できる。しかし、委託による経済効率だけでなく、市民のニーズにかなった管理運

営が行われるよう注視していただきたい。

## ② 文化財保護

郷土資料館「生駒ふるさとミュージアム」の開設は、多くの市民の関心事であり、郷土学習の場として調査研究、保存活用の拠点としていただきたい。現在、改修工事や展示に向けた作業が進められ、開館への期待が高まっている。生駒歴史文化基金の設置や友の会の設立と併せ、市民の文化財保護の気運が高まり、文化都市の構築につながるものである。

さらに、市内に残る文化財の発掘を行い、普及冊子の作成やシンポジウムの開催、デジタルミュージアム等の情報発信に努めるとともに、史跡などでは現地学習が可能となるように、関係機関と連携して保存や整備に努めていただきたい。

## ③ スポーツ振興

運動団体に所属したり、スポーツジムに通ったりして日常的、専門的にスポーツに親しむ者と、ほとんどスポーツに関わらない者の二極化がみられる。スポーツ振興の基本は、スポーツに慣れ親しむ人口の拡大にあると考える。これには、生駒市スポーツ振興基本計画に基づき、子どもから高齢者まで誰もが気軽にスポーツを行うことができる環境整備や組織的運営の基盤づくりに努力願いたい。「総合型地域スポーツクラブ」の設置は、今後のスポーツ振興に期待がかかる。

指定管理者制度の導入により、社会体育施設がより効率的に運営され、インターネット予約による利便性も向上しているようで利用者からは好評である。

## ④ 図書館

本市の場合、北・中・南部とバランス良く配置され、簡単な手続きでの貸出やインターネット検索など利便性が高い。今回やや手狭であった「たけまるホール（中央公民館）図書室」の駅前北口への移転開設が決定し、その準備が始まったことは更なる充実の一步と言える。

利用状況を見たときに、児童や青少年層の更なる利用が望まれる。館内での読み聞かせや本の紹介、各種イベント開催、団体貸出し等子どもの読書活動推進に向けた取組みが実施されており、今後の充実と継続を願うとともに、学校図書館との連携を更に進め、学校でも地域でも本に親しむ機会が増えることを期待する。

今後、指定管理者制度による貸館業務と市図書館業務が同じ建物で並行する中で、開館時間を調整するなどにより利便性の高い運営が望まれる。

平成25年8月9日

生駒市教育委員会活動点検評価委員 正 田 博 司  
生駒市教育委員会活動点検評価委員 森 本 正 一



## 本市の平成24年度の重点施策

### ○ 教育総務部

生駒市の小・中学校の児童生徒数は、昭和60年度をピークに減少していましたが、平成16年度を境に増加に転じ、全国的な少子化傾向が続く中で、平成24年度は10,372人（小学校児童数7,164人、中学校生徒数3,208人）と、平成16年度の9,422人と比較して、950人、約10%の増加となっています。

学校教育については、本市独自の取組として平成20年度から実施している小学校第1学年での30人学級を引き続き実施するとともに、平成23年度から新たに第2学年で35人学級を実施し、少人数学級の拡充に努めています。そのため、平成24年度においては、小学校第1学年で9人、第2学年で5人、合わせて14人の市費講師を小学校に配置しました。

また、「伝え合う力の育成事業」として、学校図書館の活性化と読書活動推進のため、平成21年度3小学校で開始した司書配置について、平成23年度はすべての小・中学校に派遣することで、図書室での図書の貸出冊数が増加するなど読書活動の充実を図りました。平成24年度からは大規模校は週2日の配置とするなど、さらに取組を進めています。

また、「わくわくイングリッシュ事業」として、本市独自に小学校における外国語活動を3年生から6年生で実施するにあたり、ALT3名と地域人材活用を図り、会話を中心としたコミュニケーション能力の向上に努めました。また、中学校についてもALT2名を派遣し、生徒の英会話能力の向上と国際理解の推進を図りました。さらに幼稚園についても1園当たり4回以上ALTを派遣し、幼児教育の充実に努めました。

幼稚園教育では子育て支援と就学前教育の充実のため、引き続き預かり保育を実施するとともに、今年度から生駒幼稚園において、保育所待機児童の解消、保育教室の有効利用及び幼児教育の充実を図るため、施設の整備や講師の配置を行った上で、従来の預かり保育を拡大し、長時間預かり保育を実施しました。

施設の整備については、先に完了した小中学校施設の耐震化に続き、幼稚園施設の耐震化を進め、俵口、あすか野幼稚園の耐震補強設計業務委託と生駒幼稚園の耐震補強工事を実施しました。また、文部科学省の新規事業である「スーパーエコスクール実証事業」に採択された鹿ノ台中学校において、エコ改修の基本計画を策定しました。同事業は既存の学校施設において、省エネ、創エネ等に取り組むことで、年間のエネルギー消費を実質ゼロにすることを目指す3か年事業で、初年度の平成24年度は生徒の代表も参加したワークショップで検討を行い、ソフト・ハード両面にわたるエコ改修計画をまとめました。この計画をふまえて25年度に設計を行い、26年度に改修工事を実施する予定です。

さらに、大学生を対象とした学びのサポーター制度、全小・中学校へのスクールカウンセラーの配置、弁護士等専門家によるスクールアドバイザーズの設置、特別支援教育支援員の全小学校及び一部の中学校への配置等、より一層の学校支援にも取り組みました。

昨年10月、生駒北地区における教育施設整備構想、「高山スーパースクールゾーン構想」を提案しました。この構想は、生駒北地区における教育環境を整備し、教育力を高めるために、施設

一体型小中一貫校の設置や認定こども園の創設、学校給食センターの新設による食育の充実などをその内容とするもので、地元での説明会、タウンミーティング及び保護者説明会を開催するとともに、小中一貫教育懇話会を設置し、検討を行っている段階です。

最後に、学校給食については、学校給食センター更新基本計画策定委員会を開催し、今後の学校給食センターのあり方について協議検討を行い、同基本計画を策定しました。

また、給食食材の放射性物質検査等を実施するとともに調理用備品の更新や施設の改修工事を行い、美味しく安全・安心な給食の提供に努めました。

## ○ 生涯学習部

生涯学習では、人々が生涯にわたり、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習し、その成果を適切に社会に還元できるよう、学習環境の整備、学習機会の拡充をはじめ、学習支援体制の充実や人権教育、家庭教育、社会教育の活性化等を図るなど、生涯学習推進基本方針の実現に努めました。

その内容としては、子どもに関する施策として、青少年の多様な体験活動の推進及び地域青少年リーダーの育成を目的とした研修等の開催、子ども会などの育成団体の支援並びに家庭教育力を高めるため、家庭教育学級の委託実施とともに、子どもの居場所づくり事業として、放課後子ども教室を市内の小学校3校で実施しました。また、生涯学習推進連絡会と共催し、科学の体験学習の機会として、サイエンスライブ等を開催しました。

加えて、深刻な社会問題であるニート・ひきこもり等の子ども・若者の支援の一環として、平成25年度から生涯学習課で県内専門機関との連携窓口を担い、相談会の増設等の支援策を講じるため、関係機関との調整を行いました。

図書館におきましては、子ども読書活動の推進のため、対象年齢の異なる5種類の絵本リスト・読み物リストの配布や掲載図書の団体貸出、リストを活用したブックトークなどの出前授業を行うとともに、学校や学校図書館司書と連携して学校図書館の活性化に努め、健康課の「こんにちは赤ちゃん事業」とタイアップしたブックスタート事業も継続して実施しています。また、平成26年春開室予定の生駒駅前北口に設ける図書室の内装設計を行いました。

高齢者教育に関する施策としては、いこま寿大学において、平成24年度から介護予防、健康ストレッチ体操等の実践的で身近な分野を取り入れた実務講習会を開講しました。

また、生涯学習施設の管理運営においては、公民館を廃止し、営利利用等に対応するなど施設の有効活用を促し、平成24年7月から、たけまるホール等の6施設に指定管理者制度を導入し、利用者の満足度を高め、きめ細かなサービスの向上に努めるなど、施設稼働率の拡充効果を向上させました。

文化芸術の振興については、生涯学習施設指定管理者による各種講座、コンサート等の開催によって文化芸術鑑賞の場の活性化を促し、市民の実行委員会によるいこま国際音楽祭や社会教育団体による社会還元事業への助成をおこない、市民文化の向上に努めました。

文化財保護に関する施策としては、登録有形文化財・旧生駒町役場庁舎を郷土資料館として活用するため改修工事及び展示設計業務に着手するとともに、生駒ふるさとミュージアム条例を制定し、同施設の指定管理者の選定を完了し、平成26年2月開館に向けて準備事業を進めました。また、生駒歴史文化友の会等からの寄附金の収集、クリアホルダー「いこまふるさと風景」の作成と普及冊子も含めた売払収益金を生駒市歴史文化基金に積立て、生駒の歴史文化の普及、郷土愛の醸成に努めました。さらに、各種調査の実施、重要文化財・長福寺本堂保存修理事業等への助成など文化財保護事業を実施するほか、出土遺物展示を併設したシンポジウム「生駒の歴史と文化をさぐるⅡ」の開催、ハンドブック等の頒布、ホームページ「生駒市デジタルミュージアム」の更新等の情報発信に努めました。

スポーツ振興に関する施策としては、各種スポーツ大会や生駒山スカイウォーク等の開催を通じて、市民の体力向上・健康保持に努めるとともに、平成23年3月に策定した生駒市スポーツ振興基本計画に基づき、スポーツ施策を推進しました。その中でも、「市民のだれもが、なんでも、どんなレベルでも」の特徴を持つ市民が主体的、自主的に運営する総合型地域スポーツクラブは、2か所の設置となり市民スポーツの振興に大きく寄与しました。

また、平成23年3月から実施しています市民が気軽に社会体育施設を予約できるインターネット予約を継続することにより利便性の向上を図りました。

社会体育施設については、井出山屋内温水プール「きらめき」を含めた全施設において指定管理者制度を導入し、高齢社会における市民のスポーツを通じた健康づくり、また、スポーツの拠点施設として施設の効率的、効果的な運営を行うとともに、スポーツ環境の拡充策として実施している平群町営プールとの相互利用及び節電対策の一環として昨年から実施している屋外プールの無料開放を引き続き行った結果、前年度を上回る利用がありました。

なお、市民スポーツの拠点である生駒市民体育館は耐震診断を実施しました。

---

# 1 教育委員会

---

## 1 活動概要

- (1) 教育委員会会議の開催
- (2) 学校訪問、各施設視察、研究発表会・学校行事の参観
- (3) その他市教育委員会主催事業等への参加
- (4) 県教育委員会等が主催する教育委員対象の研修への参加
- (5) 各種検討委員会の設置及び開催

## 2 活動結果

### (1) 教育委員会会議の開催

定例会 12 回及び臨時会 1 回を開催し、議案 18 件、報告案件 30 件を審議。予算、教育委員会所管の規則の制定、人事案件等について議決、承認を行った。

### (2) 学校訪問、各施設視察、研究発表会・学校行事の参観

① 定期学校訪問（年 1 回）を実施。29 校園を対象に奈良県教育委員会事務局教職員課職員及び市教育委員会事務局職員とともに訪問し、現状を視察

② 幼・小・中の卒業（園）式及び運動会への参列

### (3) その他市教育委員会主催事業等への参加

成人式、市民体育大会、市民体育祭、生駒市人権教育推進協議会総会等

### (4) 県教育委員会等が主催する教育委員対象の研修への参加

近畿市町村教育委員研修大会

### (5) 各種検討委員会等の設置及び開催

子ども子育て支援懇話会、小中一貫教育懇話会、学校給食センター更新基本計画策定委員会等

## 3 成果と評価

毎月定例会を開催し、滞りなく教育行政を推進するとともに、高山スーパースクールゾーン構想の実現に向け、小中一貫教育サミットに参加した。

また、平成 23 年度事業を対象に知見を活用した自己点検・評価を実施した。

さらに、必要に応じ教育委員と理事者との意見交換の場を設けるなど、これまで以上に首長との情報共有、意思疎通を図った。

## 4 今後の活動と方針

市の財政状況は厳しさを増しているが、事務局との連携をより一層密にしながら、国の補助金及び交付金を有効活用し、環境整備に努めるとともに、市民ニーズに応えられる教育行政を推進する。また、教育委員会のより一層の活性化に努める。

## 2 教育総務部 (1) 幼稚園教育

### 1 活動概要

- (1) 市立幼稚園における就学前教育の実施
- (2) 就園奨励事業の実施

市立幼稚園園児数

3 歳児	4 歳児	5 歳児	合計
547	576	636	1,759

### 2 活動結果

- (1) 市立幼稚園における就学前教育の実施

(平成 24 年 5 月 1 日現在)

#### ①3 歳児保育の実施

3 歳から 5 歳までを見通した系統的な教育を実施

#### ②預かり保育の実施

保護者への子育て支援の一環として、預かり保育を平成 19 年 9 月から市立全幼稚園で実施  
(月・火・木・金 14 時～16 時 1 回 300 円 利用者数 5,813 人 実施日 1,066 日)

平成 24 年度から生駒幼稚園で、長時間預かり保育(市内全域から受入れ)を実施

(月～金 8 時 15 分～8 時 30 分と保育終了後～17 時 長期休業期間中(土・日・祝日・年末年始を除く) 8 時 15 分～17 時 00 分 月額 7,000 円 利用者数 2,147 人 実施日 243 日)

#### ③地域の子育てセンターとして、未就園児保育を実施

未就園児を対象として月 1～2 回親子登園を実施 園庭開放、子育て相談を随時実施

#### ④特別支援教育

特別支援教育コーディネーター養成 4、5 歳児クラスに特別支援介助講師配置(各園 2 名)

#### ⑤幼稚園教員研修会の実施

市立幼稚園のほか、私立幼稚園、市立及び私立の保育所からも参加があり合同研修を実施

- (2) 就園奨励事業の実施

#### ①幼稚園就園奨励費補助事業の実施

市立幼稚園において保育料の減免を行い、私立幼稚園においては就園奨励費補助金を交付

#### ②市内私立幼稚園運営費補助金の交付

幼稚園教育の充実を図り、その振興に資するため、市内私立幼稚園 3 園に運営費補助金を交付

### 3 成果と評価

3 歳児保育や預かり保育の実施により、保護者ニーズに応えることができた。

各市立幼稚園においては、幼稚園教育充実に向けて様々な施策・事業を実施し、概ね目標を達成している。

また、就園奨励費補助事業により、所得に応じた保育料等の減免措置を講じ、市・私立幼稚園児保護者の経済的負担の軽減に努めた。

### 4 今後の活動と方針

平成 21 年度から、全園で入園希望者全員を受け入れており、引き続き園舎改修や人員の確保を行う。平成 24 年度から、幼稚園教諭と保育士の実務研修(1 年間の人事交流)を行い、平成 25 年度も引き続き行う予定である。今後、こども園について、研修を深めていく。

さらに、幼稚園教育の抱えている課題を踏まえ、より充実した施策・事業を展開する。

## 2 教育総務部 (2) 学校の自主性・自立性の確立

### 1 活動概要

- (1) 学校評議員会の設置・運営
- (2) 学校評価の実施
- (3) 地域に開かれた特色ある学校づくりの推進

### 2 活動結果

- (1) 学校評議員会の設置・運営(全 29 校園)

#### ①学校評議員会の開催状況

区分	構成人数			実施回数		
	3名	4名	5名	2回	3回	4回以上
校園	3名	4名	5名	2回	3回	4回以上
幼稚園	なし	5園	4園	なし	8園	1園
小学校	3校	4校	5校	1校	8校	3校
中学校	7校	1校	なし	3校	5校	なし

②学校自己評価とその分析結果に基づき、その学校の教育課題を全教職員が共有するとともに、学校経営に積極的に参加し、その改善に努めた。

③教職員の役割分担を明確にし、豊かな経験と実践力のある教職員を核として、組織的な学校経営を推進した。

- (2) 積極的な情報公開と学校評価の実施

すべての校園でホームページに学校の教育活動の様子を掲載するなど、積極的な情報公開を行うとともに、学校評価を実施し集計結果について考察することで、課題を明確にし改善点を明らかにして、学校評議員会等で公表した。

- (3) 地域に開かれた特色ある学校づくりの推進

スクールボランティアプログラムを実施し、保護者や地域住民等の学習活動への積極的な支援を求め、教育活動の充実と地域に開かれた特色ある学校づくりを進めた。

### 3 成果と評価

学校における教育活動の成果を検証し、学校運営の改善を図るとともに、家庭や地域との連携・協力を推進することができた。

### 4 今後の活動と方針

学校評議員会を充実させるとともに、学校関係者評価を実施し、その集計結果を学校運営に反映させ、保護者や地域住民等から信頼される学校・園を目指す。

---

## 2 教育総務部 (3) 学習指導・生徒指導

---

### 1 活動概要

- (1) 「確かな学力」を育てる指導を行う。
- (2) 豊かな人間性を育み、生き方の自覚を深める。

### 2 活動結果

- (1) 「確かな学力」を育てる指導を行う。
  - ①小学校1年生を対象に市独自で市費講師（9人）を配置し、30人学級編制を実施した。  
小学校2年生を対象に市独自で市費講師（5人）を配置し、35人学級編制を実施した。
  - ②小・中学校において少人数教育を実施し、児童・生徒の理解度に応じて適切な指導を行った。
  - ③推進校と協力して学力向上に向けての研究に取り組み、研究発表会を通じて市内小・中学校に成果の普及を行った。
  - ④ALT3名が小学校を、2名が中学校を巡回し、また小学校に地域人材「わくわくイングリッシュサポーター」を配置して、外国語教育の充実を図った。
  - ⑤学校図書館司書8名を全小・中学校に配置することで児童・生徒の読書活動推進を図った。
  - ⑥保護者や地域住民との連携をもとに、学校創造推進事業を実施し、信頼され、開かれた学校づくりをすすめた。
  - ⑦奈良先端科学技術大学院大学と連携し中学校生徒が研究者による授業を受けた。
  - ⑧学びのサポーターを各小・中学校に配置し、支援が必要な児童・生徒に対して、教科学習や学力補充の支援を行った。
- (2) 豊かな人間性を育み、生き方の自覚を深める。
  - ①ことばの教室・通級指導教室で、発達に遅れが見られる幼児や児童の指導を行った。
  - ②特別支援教育支援員を小学校12校、中学校5校に配置し、主として発達障がいの児童・生徒の支援を行ったほか、生徒指導部会を開催し、生徒の健全育成を図った。
  - ③人権教育研修会等に参加した。また日本語指導の必要な外国人児童・生徒の受入状況などの把握に努めた。
  - ④アンケート調査などによっていじめを把握し、スクールアドバイザーの設置など、早期解決を図る体制を整えた。

### 3 成果と評価

情報教育や外国語教育、読書指導を充実させるとともに、外部人材の積極的な活用などにより、児童・生徒の学習意欲を向上させることができた。また、図書館司書の活動状況や児童・生徒の読書状況、学校図書館の本の貸し出し冊数の調査を実施し、本市及び各学校の実態、課題等を把握し、対策を検討することができた。

### 4 今後の活動と方針

ALTを増員し、小学校外国語(英語)活動の実施時間数を増やすとともに、4校(現行2校)に図書館司書を週2日配置し、図書館教育の一層の充実を図る予定である。

さらに、特別支援教育支援員及びスクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置日数増を図り、特別支援教育及び生徒指導を充実させ、豊かな人間性を育む教育を推進していく。



---

---

## 2 教育総務部 (4) 安全教育・健康教育

---

---

### 1 活動概要

- (1) 安全教育の推進
- (2) 健康教育の充実
- (3) 食育の推進

### 2 活動結果

#### (1) 安全教育の推進

交通安全教育の推進、メールによる不審者情報の提供

- ①園児や児童に対し、交通安全週間等の機会に交通安全の大切さを伝える取組を実施
- ②不審者情報を保護者や地域住民にいち早く伝え、子どもへの安全指導、見守り活動、不審者の出没防止等に役立てた。
- ③子どもや教職員、保護者に対して子どもに対する暴力防止プログラム(CAP)を実施し、安全意識や危機回避能力を高めた。

#### (2) 健康教育の充実

健康教育の実施、健康診断の実施、環境衛生検査の実施

- ①学校教育の円滑な実施及び園児・児童・生徒及び教職員の健康保持増進のため健康診断を実施
- ②水質検査、空気・照度・騒音の測定等

#### (3) 食育の推進

- ①食育の推進を図るため、食育推進委員会等の体制づくり
- ②学校の教育計画に位置付けた「食に関する指導」の推進、給食指導や家庭科、総合的な学習の時間等と連携した食に関する授業の実施

### 3 成果と評価

地域や保護者と連携を図り、子どもの安全確保に努めるとともに、学校医や関係機関と連携し、園児・児童・生徒及び教職員の健康状態の把握と健康管理、体力の向上に努めた。

また、食の大切さを理解し、園児・児童・生徒一人一人が健全な食生活を実践することができるよう、校園における食育の推進に努めた。

### 4 今後の活動と方針

さらなる危機管理の徹底及び子どもの安全対策に取り組むとともに、学校保健安全法に基づき園児・児童・生徒の健康保持増進を図り、学校教育を円滑に実施するとともに、食に関する指導の全体計画の作成と指導の充実に努める。

---

---

## 2 教育総務部 (5) 就学援助・遠距離通学費補助

---

---

### 1 活動概要

- (1) 就学援助費の給付
- (2) 遠距離通学児童通学費補助金の交付

### 2 活動結果

- (1) 就学援助費の給付

経済的理由によって就学が困難である児童・生徒に対し、学校教育法等に基づき、必要な就学の援助を行った。

#### ①認定状況

要保護・準要保護児童・生徒数	小学校	692人	中学校	440人
特別支援教育就学奨励費	小学校	99人	中学校	23人

#### ②対象経費

学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学児童・生徒学用品費、修学旅行費、体育実技用具費、学校給食費、医療費、通学費

- (2) 遠距離通学児童通学費補助金の交付

遠距離通学児童の保護者の負担軽減を図り、義務教育の円滑なる運営に資するため、遠距離通学する児童の保護者に対し、補助金を交付した。(35人)

### 3 成果と評価

経済的理由によって就学が困難と認められる児童・生徒が等しく教育を受けることができるよう、学校と連携して家庭の生活状況の把握をし、就学に係る必要な援助を行うことができた。

### 4 今後の活動と方針

今後も、社会情勢を踏まえた上で、基準などについて必要な見直しを行っていく。

## 2 教育総務部 (6) 就学事務

### 1 活動概要

- (1) 新入学者への就学通知
- (2) 就学指定校変更の申立審査
- (3) 隣接校選択制の実施

#### 市立小・中学校 児童・生徒数

小学校	クラス数	児童数
生駒	27	695
生駒南	18	484
生駒北	9	220
生駒台	32	951
生駒東	22	660
真弓	20	512
俵口	26	663
鹿ノ台	24	601
桜ヶ丘	25	590
あすか野	25	628
壱分	32	910
生駒南第二	14	250
合計	274	7,164

中学校	クラス数	生徒数
生駒	21	589
生駒南	8	224
生駒北	5	127
緑ヶ丘	21	627
鹿ノ台	10	232
上	14	432
光明	16	383
大瀬	19	594
合計	114	3,208

(平成 24 年 5 月 1 日現在)

### 2 活動結果

- (1) 新入学者への就学通知
  - ① 就学時健康診断の実施 (平成 24 年 10~11 月)
  - ② 就学通知 (平成 25 年 2 月)

- (2) 就学指定校変更の申立審査

通学区域の弾力的な運用を図るため、地理的理由や教育的理由等により配慮の必要な児童・生徒について申立により就学指定校の変更を許可している。

- (3) 隣接校選択制の実施

子どもたちが安心して通うことのできる教育環境の整備などを図ることを目的とし、小学校新入学児を対象に、子どもと保護者の希望により、通学に近い隣接した学校を選択できる制度を実施した。(平成 24 年度当初申請による就学児童数 38 人)

### 3 成果と評価

就学指定校変更及び区域外就学の申立については、取扱要領に基づき受理・許可し、保護者や児童・生徒の希望に配慮することができた。また、隣接校選択制度により、通学区域の弾力的な運用が図れた。

### 4 今後の活動と方針

平成 20 年度に開催した通学区域制度検討委員会の答申を踏まえ、中学校への隣接校選択制の導入は実施しないが、友達関係や通学の安全性を考慮しながら、個々の事情に応じた運用を行う。

---

---

## 2 教育総務部 (7) 教育相談・研修

---

---

### 1 活動概要

- (1) 教育相談員とスクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー・スクールアドバイザーによる教育相談
- (2) 不登校の児童・生徒を対象にした適応指導教室
- (3) 特別支援教育に関する教育相談
- (4) 教職員研修の実施

### 2 活動結果

- (1) 教育相談員とスクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー・スクールアドバイザーによる教育相談
  - ①子育ての悩みや不登校、教育に関する子どもや保護者の様々な悩みに対して電話、来所、訪問、メール等で相談に応じた。(1,253件)
  - ②市内8中学校及び3名の小学校担当のスクールカウンセラーを配置し、子どもの学校生活や家庭での問題、不登校等の心の悩みに対して相談に応じた。
  - ③教育支援施設にスクールソーシャルワーカーを年間45回配置し、個人と環境の双方を視野に入れて83件の相談を受けた。
- (2) 不登校の児童・生徒を対象にした適応指導教室
  - ①教育支援施設内に適応指導教室を設け、心理的あるいは情緒的な原因等により登校できない児童・生徒を対象に、毎日通って生活リズムを改善し、人間関係を築く場所とし、学校生活への復帰を支援した。(13人)
- (3) 特別支援教育に関する教育相談
  - ①特別な支援を要する就学前の幼児を対象に就学前教育相談を実施した。(49件)
  - ②特別な支援を要する児童・生徒及びその保護者や教員に対して教育相談を実施した。(80件)
- (4) 教職員研修の実施
  - ①幼稚園、小・中学校の教員を対象として教育分野の専門家を招いて研修会を実施し、教育技術の向上を図った。

### 3 成果と評価

教育相談及びカウンセリングの充実により個別にきめ細かく対応することができた。

また、教育支援施設において、こもりがちであった子どもの心を徐々に開くことができている。就学前教育相談においては、障害をもつ子どもの就学についてきめ細かく相談に応じた。

また、教職員研修で、防災教育や幼小連携について研修し、指導に役立てることができた。

### 4 今後の活動と方針

教育相談については、より相談しやすく、子どもの実態に即した対応を目指す必要がある。

また、中学校でも学習指導要領の全面实施を踏まえ、教育課程の編成・実施について実態把握を行うとともに効果的な実施について研修を深める必要がある。

---

## 2 教育総務部 (8) 子ども施策の推進

---

### 1 活動概要

- (1) 地域ぐるみの児童生徒健全育成事業の実施
- (2) スクールボランティアプログラムの実施
- (3) 学びのサポーター派遣事業の実施
- (4) 読書活動の奨励

### 2 活動結果

- (1) 地域ぐるみの児童生徒健全育成事業の実施

「手をつなぐ地域の中で子は育つ」をスローガンとして、学校・家庭・地域が連携しながら、啓発活動や教職員の合同交流学習会、交流発表会などを通して、地域の実態や課題に沿った健全育成活動を実施

- (2) スクールボランティアプログラムの実施

子どもの健全育成のために、地域の人たちが互いに交流しながら、安心して学校・園生活を送れるよう協力・連携の充実・強化を図った。(登録者実数 1,227人)

- (3) 学びのサポーター派遣事業の実施

市内の大学生を学びのサポーターとして市内各小・中学校に派遣し、教科学習、学力補充、特別支援等の指導補助として学校教育を充実させた。

- (4) 読書活動の奨励

市内各学校・園において読書活動を奨励し、始業前の読書タイムや、読書ボランティアによる読み聞かせ等を実施

### 3 成果と評価

地域ぐるみの児童生徒健全育成事業によって、保・幼・小・中の各校園が連携、協力して、生徒指導を推進することができた。

また、スクールボランティアや学びのサポーターによって、各校園に地域の人材が必要に応じて派遣され、教育支援、安全確保等の面で充実した学校教育が行われた。

さらに、読書の習慣づけや本への興味を高めるきっかけ作りができた。

### 4 今後の活動と方針

保護者や地域の人たちの協力は、学校教育において非常に大切であり、今後も連携を強化し、さらなる施策を実施しながら、生駒市の教育を深化・充実させる。

## 2 教育総務部 (9) 学校給食

### 1 活動概要

- (1) 学校給食の実施・食指導
- (2) 学校給食の安全・衛生管理・放射性物質検査
- (3) 施設設備の整備充実
- (4) 学校給食センター更新基本計画策定委員会の運営

### 2 活動結果

- (1) 学校給食の実施・食指導

①学校給食の実施状況(平成 24 年 5 月 1 日現在)

		内 訳	実施回数	給食費(月額)
小学校	学 校 数	12 校	185 回	4,000 円
	児 童 数	7,164 人		
中学校	学 校 数	8 校	172 回	4,400 円
	生 徒 数	3,208 人		

②全小学 1 年生及び 4 年生を対象に、栄養教諭等による食に関する指導を実施

③栄養教諭等が学校と連携し、特別活動等の時間に食に関する指導を実施

④栄養教諭等が給食時間に学校を訪問し、食に関するワンポイント指導及び情報収集を実施

⑤献立表の裏面を「給食・食育だより」として活用し、栄養面・衛生面等、食に関する情報を提供

- (2) 学校給食の安全・衛生管理・放射性物質検査

①検収及び検品の徹底（納入された食材の時間・温度・品質・衛生状態・期限等の確認、記録並びに調理前における食材の検品）

②食材の細菌及び残留農薬等検査並びに放射性物質検査の実施

③2 時間喫食の達成率の向上を図るため、調理工程や配送時間の見直しを行った。

- (3) 施設設備の整備充実

網戸等改修工事及び受変電設備改修工事等の実施並びに調理用備品（蒸気式回転釜・作業台等）の更新

- (4) 学校給食センター更新基本計画策定委員会の運営

学校給食センター更新基本計画策定委員会を開催し、作業面や設備面、アレルギー対応等の課題について、協議検討を行い、同基本計画を策定した。

### 3 成果と評価

新鮮でかつ栄養豊富な給食食材を選定し、より安全でおいしい給食の実施を図るとともに、児童・生徒に望ましい食習慣と正しい栄養の知識を身につけてもらい、給食を通して心身の成長や健康づくりの基礎を培うように努めた。

### 4 今後の活動と方針

学校給食センター更新基本計画において整理した事項について、学校給食センター更新懇話会を設置し、具体的な手法や設備等を検討する。また、食材の放射性物質検査等を実施すると共に安定して給食が実施出来るよう、老朽化した設備、機器の改善に努める。

---

## 2 教育総務部 (10) 幼稚園施設の整備

---

### 1 活動概要

- (1) 生駒幼稚園耐震補強工事
- (2) 各幼稚園リズム室等エアコン設置工事
- (3) 俵口幼稚園・あすか野幼稚園耐震補強工事設計業務
- (4) 園舎修繕

### 2 活動結果

- (1) 生駒幼稚園耐震補強工事

安全・安心な幼稚園生活を送れるよう、幼稚園園舎の耐震化を図るため、生駒幼稚園の管理棟及び保育棟東の耐震補強工事を実施した。

- (2) 各幼稚園リズム室等エアコン設置工事

昨今の猛暑による幼稚園児の体調を守るため、幼稚園全9園のリズム室及び生駒幼稚園保育室にエアコンを設置した。

各園リズム室では、変調を来した児童の緊急避難及び預かり保育時(14時から16時)の高温対策に、また、生駒幼稚園保育室では、平成24年度から実施した長時間預かり保育の高温対策のためにエアコンを設置した。

- (3) 俵口幼稚園・あすか野幼稚園耐震補強工事設計業務

安全・安心な幼稚園生活を送れるよう、幼稚園園舎の耐震化を図るため、俵口幼稚園及びあすか野幼稚園の耐震補強工事に係る設計業務を実施した。

- (4) 園舎修繕

桜ヶ丘幼稚園の老朽化した複合遊具の更新を行った。

### 3 成果と評価

平成21年度から3歳児を含む入園希望者全員の受入れを行った。これにより、就学前教育の充実と推進につながるとともに、これまで、市民からの抽選漏れに対する不公平感をなくし、市民ニーズに応えることができた。

また、俵口幼稚園及びあすか野幼稚園については、平成25年度に耐震補強工事を実施する。

### 4 今後の活動と方針

園児数の増減に留意しながら保育室の確保、整備に取り組む。

また、安全・安心で、より快適な教育環境を整えるべく、必要に応じて随時、園舎や遊具の修理を行うとともに、市内の全幼稚園の耐震化を進める。

---

---

## 2 教育総務部 (11) 小学校施設の整備

---

---

### 1 活動概要

各学校施設整備等

### 2 活動結果

#### (1) 生駒東小学校プールろ過装置入替工事

腐食が進行するなど経年劣化が顕著であり、学校プール運営に支障をきたしていたため、入替工事を行った。

#### (2) 生駒東小学校経年ガス管改修工事

生駒東小学校南館において配管を調査したところ、発錆等経年劣化の進行が確認されたことから、先行して南館の配管入替工事を行った。また8月に残りの旧規格ガス管が敷設されている北館の配管入替工事を行った。

#### (3) 生駒台小学校経年ガス管改修工事

旧規格のガス管が敷設されており、経年劣化が進み危険であったことから、配管入替工事を行った。

#### (4) 生駒東小学校敷地周囲フェンス設置工事

西側の既存フェンスは高さが低く、老朽化が目立つとともに、これまでに何度か不審者が乗り越えて侵入したことから、既存フェンスを撤去のうえ、より高く侵入しにくいフェンスを設置した。

#### (5) 生駒南小学校外壁等改修工事

平成23年度の特種建築物定期検査において、校舎のベランダスラブ部及び屋内運動場の外壁に経年劣化による露筋やクラックが複数見つかり、危険であったことから改修工事を行った。

#### (6) 俵口小学校中館東屋上防水改修工事

既存の屋上防水シートが老朽化に伴い穴が空き、直下の3階PC教室で度々雨漏りが発生したことから、全面張替工事を行った。

#### (7) 生駒北小学校耐力度調査測定業務

建築後50年近く経過し老朽化が著しい本館、北館、南館及び屋内運動場の耐力度調査を実施した。

### 3 成果と評価

経年劣化により改修が必要となった学校施設について、部分改修を実施し、危険箇所を改善することができた。

### 4 今後の活動と方針

建築後30年以上経過している建物が多く施設の老朽化が進行しているため、大規模改修計画を策定し、安全安心でより快適な教育環境の整備に努める。



---

---

## 2 教育総務部 (12) 中学校施設の整備

---

---

### 1 活動概要

各学校施設整備等

### 2 活動結果

#### (1) 大瀬中学校中庭整備工事

経年劣化により既設人工芝が剥がれ下地アスファルト面に接着剤が付着し、学校教育や行事等で活用できないため、全面改修工事を行った。

#### (2) 上中学校多目的便所設置工事

歩行困難な生徒（歩行器具使用）及び怪我をした生徒並びに障がいを持った来校者に対応するため、中央棟1階に多目的便所を設置した。

#### (3) 生駒南中学校東館4階教室床改修工事

経年劣化による痛みが激しく、これまでに何度も破損し怪我をする危険性があったため、全面改修工事を行った。

#### (4) 光明中学校駐輪場増設工事

西白庭台方面からの生徒数が急増したことにより手狭になっていたため増設した。

#### (5) 緑ヶ丘中学校経年ガス管改修工事

旧規格のガス管を使用し経年劣化が進んでいたため、新たに配管替えを行った。

#### (6) 光明中学校体育館パラペット改修工事

パラペット部分の発錆が著しく、一部穴が開き雨漏りしていたため改修工事を行った。

#### (7) 鹿ノ台中学校スーパーエコスクール基本計画策定業務

鹿ノ台中学校スーパーエコスクール実証事業に関し、エコ改修に関する基礎資料の収集及びワークショップにおける意見の集約を行い、スーパーエコスクール基本計画を策定した。

#### (8) 生駒北中学校屋内運動場陸屋根防水改修工事

経年劣化により破損し、雨漏りが多く発生していたため改修工事を行った。

#### (9) 生駒北中学校耐力度調査測定業務

建築後40年近く経過し老朽化が著しい本館及び南館の耐力度調査を実施した。

#### (10) 緑ヶ丘中学校高圧ケーブル取替工事

緑ヶ丘中学校引込電柱からキュービクルまでの高圧ケーブルが老朽化により電圧低下の恐れがあったため改修工事を行った。

### 3 成果と評価

経年劣化により改修が必要となった学校施設について、部分改修を実施し危険箇所を改善することができた。

### 4 今後の活動と方針

建築後30年以上経過している建物が多く施設の老朽化が進行しているため、大規模改修計画を策定し、安全安心でより快適な教育環境の整備に努める。

---

---

### 3 生涯学習部 (1) 生涯学習活動の推進

---

---

#### 1 活動概要

- (1) 生涯学習まちづくり人材バンクの活用
- (2) 社会教育委員会議の運営
- (3) 市民文化祭等の開催
- (4) 社会教育団体の育成・支援

#### 2 活動結果

- (1) 生涯学習まちづくり人材バンクの活用

生涯学習まちづくり人材バンクのホームページ等による市民への情報提供

- (2) 社会教育委員会議の運営

現委員数 14 名、開催回数 2 回

社会教育に関する諸計画の立案として、平成 25 年度社会教育基本方針及び重点目標の策定等について、社会教育委員会議で検討した。

- (3) 市民文化祭等の開催

リベラルコンサート、邦楽邦舞発表会の開催や文化事業に助成し、市民の文化振興に努めた。

また、生涯学習推進連絡会と共催により、親子のコミュニケーションや子どもたちの創造力を高めるきっかけ作りとして、親子シリーズ「サーカス・エコロジカル」と「サイエンスライブ」を開催した。

- (4) 社会教育団体の育成・支援

生駒市生涯学習推進連絡会への活動支援やその構成団体である P T A 協議会、子ども会育成連絡協議会等の社会教育団体への補助や自主学習グループの学習活動支援に努めた。

#### 3 成果と評価

生涯学習推進連絡会等の社会教育団体と連携し、市民主体での各種事業を開催することができた。また、自主学習グループへの補助金について、市への直接補助に円滑に移行でき、前年度を上回る回数の公開講座を開催できた。

#### 4 今後の活動と方針

多様な学習ニーズに対応するとともに市民の学習活動を支援するため、指定管理者と連携して人材バンクの登録や情報提供に努める。また、生涯学習推進連絡会と連携して事業を実施していく。

自主学習グループについては、市民の自主的な学習活動の機会を拡大するため、グループ主催の公開講座等の社会還元活動に対して支援していく。

---

## 3 生涯学習部 (2) 文化財保護

---

### 1 活動概要

- (1) 生駒ふるさとミュージアム（郷土資料館）新設事業の実施
- (2) 生駒市歴史文化基金の積立金収集
- (3) 古文書調査、埋蔵文化財発掘調査等の実施
- (4) 指定文化財保存修理・管理・後継者育成事業補助の実施
- (5) シンポジウム「生駒の歴史と文化をさぐるⅡ」の開催及び刊行物の頒布等の情報発信

### 2 活動結果

#### (1) 郷土資料館新設事業の実施

旧生駒町役場庁舎(中央公民館別館)を活用して生駒ふるさとミュージアム（郷土資料館）の改修工事及び展示設計業務に着手するとともに、生駒ふるさとミュージアム条例を制定し、同施設の指定管理者の選定を行った。（平成 26 年 2 月開館予定）

#### (2) 生駒市歴史文化基金の収集

生駒市歴史文化基金への寄附金を収集するとともに、クリアホルダー「いこまふるさと風景」を作成し、物品売払収益金を積立てるなど生駒の歴史文化及び郷土愛の醸成に努めた。

#### (3) 古文書調査、埋蔵文化財発掘調査等の実施

民間等の開発工事にもなう埋蔵文化財の発掘調査を行い記録保存に努め、古文書調査等有形文化財調査を行った。 発掘調査 4 件 工事立会 19 件

#### (4) 指定文化財保存修理・管理・後継者育成事業補助の実施

重要文化財・長福寺本堂保存修理事業等国指定 8 件、県・市指定 2 件の事業補助を実施

#### (5) シンポジウム「生駒の歴史と文化をさぐるⅡ」の開催及び刊行物の頒布等の情報発信

出土遺物展示を併設したシンポジウムの開催とともに、ハンドブック等の頒布、ホームページ「生駒市デジタルミュージアム」の更新など調査成果の公開を行った。

### 3 成果と評価

登録有形文化財・旧生駒町役場庁舎を活用して生駒ふるさとミュージアム（郷土資料館）の改修工事及び展示設計業務に着手した。また、生駒ふるさとミュージアム条例を制定し、同施設の指定管理者の選定を完了し、開館準備を進めた。（平成 26 年 2 月開館予定）

生駒市歴史文化基金に対し、生駒歴史文化友の会等からの寄附金の収集、クリアホルダー「いこまふるさと風景」の作成、普及冊子も含めた売払収益金の積立てなどを行い、生駒の歴史文化の普及、郷土愛の醸成に努めた。また、各種調査の実施、重文・長福寺本堂保存修理事業等への助成など文化財保護事業を実施し、出土遺物展示を併設したシンポジウム「生駒の歴史と文化をさぐるⅡ」の開催、ホームページ「生駒市デジタルミュージアム」更新等の情報発信に努めた。

### 4 今後の活動と方針

指定管理者と連携し、ふるさとミュージアムの平成 26 年 2 月開館を目指す。また開館を機会に文化財愛護への市民参加や郷土愛の醸成に努める。

---

### 3 生涯学習部 (3) 青少年の健全育成

---

#### 1 活動概要

- (1) ジュニアリーダー研修会、あすなる会等による青少年リーダーの育成
- (2) 青少年指導委員による青少年健全育成の啓発及び非行防止活動の実施
- (3) 新成人による成人式運営委員会主体で、企画、立案、運営する成人式を実施
- (4) 家庭教育学級の開設
- (5) 放課後子ども教室の開催
- (6) 「国際交流の集い」わいわいワールドの開催

#### 2 活動結果

- (1) ジュニアリーダー研修会、あすなる会等による青少年リーダーの育成  
ジュニアリーダー研修会を年6回（危険予知トレーニングKYT・野外調理体験研修等）
- (2) 青少年指導委員による青少年健全育成の啓発及び非行防止活動の実施  
青少年指導委員による巡回指導206回、延べ人数1,037人
- (3) 新成人による成人式運営委員会主体で、企画、立案、運営する成人式を実施（記念写真のネット配信化、新成人の山麓太鼓演奏と南中ソーラン演舞のコラボレーションの新企画）  
成人式運営委員24人、成人式参加人数807人
- (4) 家庭教育学級の開設（市立幼稚園9園、1小学校） 全学級の年間延べ開催数60回
- (5) 放課後子ども教室の開催  
市内3カ所（俵口・真弓・東小）で開催、年間開催数86回、延べ参加人数938人
- (6) 「国際交流の集い」わいわいワールドの開催 参加ブース11カ国、参加人数225人

#### 3 成果と評価

ジュニアリーダー研修会やあすなる会の活動を通じて青少年リーダーを育成し、青少年の健全育成に努めるとともに、学校の協力を得て、市内3校目となる放課後子ども教室を東小で開催し、子どもたちが安全で安心して活動できる場を提供した。また青少年指導活動では青少年指導委員の巡回指導回数、延べ人数ともに昨年度に比べて大きく伸び、24年6月から青少年指導委員会を発足したことにより、特に生駒駅前周辺の巡回指導は、校区を超えた活動が可能となり、一層青少年の安全確保及び非行防止に努めることができた。

#### 4 今後の活動と方針

青少年団体については、会員数が減少化しつつあるため、今後も団体育成や活動支援を強化していく必要がある。こうした中、成人式運営委員の有志を中心とした青年団体組織結成の機運が高まっており、自主事業を企画運営する組織として支援し、同世代交流の活発化とまちづくりへの貢献に向けて、団体育成を図る。また、ニート・ひきこもり等の若者に対して、生涯学習課で窓口を担い、国・県から委託を受けた「なら若者サポートステーション」と「若者サポートステーションやまと」に月4回の無料相談会の実施を促すとともに、広報やホームページ等による情報提供を積極的に行い、就学・就労等の社会復帰への支援に努める。

### 3 生涯学習部 (4) 高齢者教育の推進

#### 1 活動概要

「いこま寿大学」の企画運営

#### 2 活動結果

(1) 平成 24 年度の応募者人数等

クラブ名	定員	応募数	入学数	在籍者数	卒業者数
ハイキング初心1班10km	25	45	26	89	21
ハイキング初心2班 8km	25	47	25	93	22
ハイキング初心3班 6km	25	45	25	89	17
ハイキング自主1班10km	20	37	20	66	12
ハイキング自主2班 8km	20	18	20	57	10
園芸	15	19	15	44	10
民謡	15	9	13	44	9
書道	20	32	21	64	14
手芸	10	17	10	29	5
絵画	15	24	16	47	11
レクリエーション体操	15	12	15	48	12
コーラス	20	19	20	53	10
クッキング	15	53	15	54	12
陶芸	20	37	20	73	13
合計	260	414	261	850	178

※ 卒業生総数 3,412 名（平成 24 年度卒業生 178 名を含む）

(2) 主な学習の概要（平成 24 年度）

①クラブ学習：14 クラブ、年間 6 回開催

ハイキング初心 1～3 班、ハイキング自主 1・2 班、園芸、民謡、書道、手芸、絵画、レクリエーション体操、コーラス、クッキング、陶芸。

②一般教養学習会（年 5 回）歴史講演会、コンサート、健康のつどい講演会など。

③特別学習（年 2 回）差別をなくす人権市民集会、環境シンポジウム。

④大学祭記念講演（年 1 回）講演会（落語でつづる上方文化）

⑤実務講習会

- ・介護保険講座(年 2 回・参加人数 25 名、28 名)
- ・介護予防講座(年 2 回・参加人数 46 名、39 名)
- ・認知症サポーター講習会(年 2 回・参加人数 45 名、37 名)
- ・ヘルシー講座(年 2 回・参加人数 27 名、23 名)
- ・健康ストレッチ体操講座(年 2 回・参加人数 26 名、29 名)
- ・普通救命講習会(年 5 回・参加人数 28 名、27 名、19 名、10 名、8 名)
- ・ボランティア実習（年 1 回・参加人数 17 名）

#### 3 成果と評価

一般教養学習会や大学祭等の開催に加え、平成 24 年度からはクラブ学習の回数を年 1 回増やすとともに、新たに身近な分野を取り入れた実務講習会を開催し、高齢者に学習の場と仲間づくりの機会を提供した。また、学習カリキュラムの充実を図った。

#### 4 今後の活動と方針

平成 25 年度からは、アンケートなどを通じて時代に即応した学習内容になるよう充実を図る。

---

### 3 生涯学習部 (5) スポーツ推進事業

---

#### 1 活動概要

- (1) スポーツ推進審議会、スポーツ推進委員の運営
- (2) スポーツ振興基本計画の策定及びスポーツ、レクリエーション活動の企画及び実施
- (3) 社会体育施設の設置、管理及び運営
- (4) スポーツ関係団体及びスポーツ指導者の育成・支援

#### 2 活動結果

- (1) スポーツ推進審議会、スポーツ推進委員の運営
  - ・スポーツ推進審議会（県外研修及び会議1回）
  - ・スポーツ推進委員（研修等6回、事業の実技指導6回、会議2回、都度地域での実技指導）
- (2) スポーツ振興基本計画の策定及びスポーツ、レクリエーション活動の企画及び実施

スポーツ振興基本計画を遂行するため、実施計画を策定し、各種スポーツ、レクリエーション活動（市民体育大会、市民体育祭、市内体育館の無料開放、学校体育施設開放事業等）をスポーツ関係団体の協力を得て実施した。
- (3) 社会体育施設の設置、管理及び運営

平成24年度の施設管理については、井出山屋内温水プール「きらめき」は㈱アクアティックに、山麓公園テニスコートを大新東・ナック共同体に、他の体育施設については（一財）生駒市体育協会を指定管理者として、より効率的な施設の維持管理に努めるとともに、施設のインターネット予約によるシステムの導入により市民の利便性の向上を図った。
- (4) スポーツ関係団体及びスポーツ指導者の育成・支援

スポーツ指導者登録を開始するとともに、スポーツ関係団体に育成のため各種補助を行った。

#### 3 成果と評価

高齢社会におけるスポーツや健康づくり、また、地域コミュニティの拠点施設である総合型地域スポーツクラブの設置を支援するとともに、また、市内社会体育施設の運営をはじめ、スポーツ施策の充実やより質の高い生活の中での健康づくりが実践できる場の提供が図れた。スポーツ推進審議会においては、総合型地域スポーツクラブの早期実施に向け先進地視察を実施した。また、例年実施の市民体育大会（6,007人）、市民体育祭（2,438人）、体育館無料開放事業（1,235人）にも多くの参加者を得た。

なお、市民体育祭の競技審判及び体育館（社会体育施設）の無料開放には、（一財）生駒市体育協会の協力とスポーツ関係団体育成事業の結実が見られる。

#### 4 今後の活動と方針

生涯スポーツ実践都市の実現のため、生駒市スポーツ振興基本計画及び実施計画に基づき、また、スポーツ関係団体等の協力を得て、総合型地域スポーツクラブの周知及び啓発活動の実施を検討。

### 3 生涯学習部 (6) 文化芸術振興

#### 1 活動概要

- (1)生涯学習施設における各種事業や講座の開催。
- (2)生涯学習施設指定管理者制度導入(平成24年7月から)に伴う、市主催事業の見直しや調整。
- (3)生涯学習施設指定管理者の自主事業(講座・事業)の開催について必要な情報提供と調整。

#### 2 活動結果

- (1)生涯学習施設におけるコンサートや講座等の開催

	種 別	講座数	延べ回数	参加者数
市 主 催 事 業	コンサート等	20	21回	12,731人
	講 座	9	27回	569人
	小 計	29	48回	13,300人
指定管理者自主事業	コンサート等	11	12回	5,371人
	講 座	14	35回	836人
	小 計	25	47回	6,207人
合 計				19,507人

- (2)いこま国際音楽祭

コ ン サ ー ト 名 称	入場者数		参加者数
オープニング・ガラ・コンサート	670人	マスタークラス受講者	21人
ヴァイオリンとピアノのデュオ	464人	マスタークラス聴講者	266人
ファイナルコンサート	811人	音楽塾(3小学校)	934人
マスタークラス・クロージング・コンサート	123人	コンサート指導(2小学校・2中学校)	121人
合 計			3,410人

#### 3 成果と評価

市主催や指定管理者の自主事業として各種講座を開催し、多くの市民に生涯学習の場を提供し、学習ニーズに応えた。また、幅広い年代の市民を対象とした音楽会、芸能文化鑑賞会、展示会の開催を通じて文化意識の更なる向上を目指し、文化の香り高い生駒市のまちづくりに寄与することができた。指定管理者の自主事業として開催した音楽会等については、定員充足率が80パーセント以上の高いものもあり、文化芸術の鑑賞の充実と市民文化の向上に努めることができた。

いこま国際音楽祭については、4つのコンサートと市内の学校へ訪問する「世界はともだち音楽塾」、音楽家を目指す人の公開レッスンである「マスタークラス」を実施した。

#### 4 今後の活動と方針

昨年7月からの指定管理者制度導入により市主催の事業は市民の成果発表の場と定め、市民団体との連携や協働により各種事業を実施していく。指定管理者の自主事業については、市の広報・ホームページ掲載など市民に向けて情報提供する等で協力していく。

### 3 生涯学習部 (7) 生涯学習施設の管理と運営

#### 1 活動概要

- (1) 生涯学習施設条例施行（平成 24 年 7 月 1 日）
- (2) 指定管理者による生涯学習 6 施設の管理運営の開始（平成 24 年 7 月 1 日）
- (3) 施設の維持管理

#### 2 活動結果

- (1) 生駒市生涯学習条例施行  
公民館を生涯学習施設に転用し、施設名称の変更を行った。（生駒市中央公民館をたけまるホールに変更など）
- (2) 指定管理者による施設管理運営  
平成 24 年 5 月 28 日 基本協定及び年度協定を締結  
平成 24 年 7 月 1 日 指定管理者（JTB・南海グループ）による生涯学習施設 6 施設の管理運営開始

##### 各施設の使用件数、使用人数

施設名	使用件数	使用人数
たけまるホール	6,604件	189,302人
中央公民館別館（平成24年5月31日閉館）	65件	1,331人
やまびこホール	68件	968人
鹿ノ台ふれあいホール	3,175件	47,603人
図書会館	3,071件	87,476人
コミュニティセンター	8,738件	207,937人
南コミュニティセンター	6,866件	152,929人
北コミュニティセンター	8,182件	195,821人
芸術会館	5,687件	116,015人

- (3) 施設の維持管理  
たけまるホール……増築・改修及び耐震補強工事に着手（平成 25 年 12 月完成予定）  
図書会館……中駐車場進入路改修、外壁タイル調査  
北コミュニティセンター……非常用蓄電池交換  
鹿ノ台ふれあいホール……耐震診断、壁面防水改修

#### 3 成果と評価

平成 24 年 7 月 1 日から公民館を生涯学習施設に転用して使用制限を緩和し、使用の範囲を拡大するとともに、生涯学習施設 6 施設に新たに指定管理制度を導入した結果、前年比で利用件数、利用者数とも増加した。また利用者アンケート等でも満足する旨の回答が大多数を占める結果を得ている。

また、施設管理面では、図書会館をはじめ、各施設で、建物、設備等について改修、補修等を行い、良好な使用環境の提供に努めた。

#### 4 今後の活動と方針

今後も指定管理制度による管理運営により施設・設備を良好に維持するとともに、規模の大きな設備の更新や改修は順次市が行ない、施設・設備の充実に努める。



### 3 生涯学習部 (8) 図書館

#### 1 活動概要

- (1) 図書館の運営と充実
- (2) 子ども読書活動の推進
- (3) 読書活動ボランティアの育成と協働による事業推進

#### 2 活動結果

- (1) 図書館の運営と充実

##### ①蔵書冊数、年間貸出冊数

	本館	北分館	南分館	中央公民館図書室	鹿ノ台図書室	合計
蔵書冊数	265,853	118,222	97,598	46,876	73,213	601,762
年間貸出冊数	432,789	380,419	234,426	133,449	124,481	1,305,564

②図書館利用券総登録者数 57,602人                      ③各種講座・講演会（一般対象） 1,311人

④ホームページアクセス回数 302,673回              ⑤インターネット蔵書検索回数 460,034回

- (2) 子ども読書活動の推進

①ブックスタート事業の実施

②5種類の絵本リスト、読み物リストの配布

③各リスト掲載図書の団体貸出 25団体、75回      ④各種行事（児童対象） 1,260人

⑤絵本の会、おはなし会（定例、見学会、大人参加等）、出前授業等（おはなし会、ブックトーク、絵本の会等）

	本館	北分館	南分館	中央公民館図書室	鹿ノ台図書室	合計
絵本の会	512	642	461	572	444	2,631
おはなし会	1,652	767	929	191	342	3,881
出前授業等	3,458	1,466	806	1,009	1,924	8,663

- (3) 読書活動ボランティアの育成と協働による事業推進

①子どもに語るおはなし講座 8回 145人      ②子どもの本の講座 3回 160人

③学校等ボランティア講座 11回 168人      ④共催・協力事業 626人

#### 3 成果と評価

図書館は人と本との出会いの場となるように、蔵書の充実、各種講座等開催とともに、ツイッターを含むインターネットによるサービスの充実を図った。また、図書館作成のブックリスト活用や学校及び学校図書館司書との連携を進め、県の子どもの読書活動推進フォーラムでは学校図書館司書の小中学校全校配置について発表した。

#### 4 今後の活動と方針

生駒市子ども読書活動推進計画に基づき、学校、学校図書館司書、ボランティア、PTA、生駒市子ども読書活動連絡調整会議との連携のもと、学校図書館の一層の活性化を図る。また、市内5図書館、分館、図書室が一体となってサービスに努めるとともに、平成26年春に生駒駅前北口に駅前の利便性を活かした特色ある図書室を開設する。